

令和7年度 第2回宗像市地域公共交通会議 議事録要旨

日 時	令和7年7月28日（月） 14時00分～15時05分
場 所	宗像市役所本館 304会議室
出席者	【委員】内田忠治（会長）、川下英次郎、森正彦、池田舞、湊上大輔（代理）、矢加部忍、古後澄雄、浅倉憲二、寺尾悦治、大枝良直、宮地信裕、棚橋美智子、川野一代（代理）、辻美貴善（代理）、椿翔太（代理） 【オブザーバー】上谷恵、宮本英明、宮部佑一、吉武修平、波多野晴太 【事務局】内田忠治、春本英憲、平島佳世子、内野由太、櫻井翔子 【元気な島づくり課】中野寛治、丸井安、川瀬 滉人 【都市再生課】濱村隆
開会	会長挨拶
協議事項	（1）大島地区の公共交通再編について （2）路線バス（松ヶ台循環線、津屋崎鐘崎線）に伴う地域公共交通再編等について
報告事項	（1）交通需要調査結果報告及び今後の地域公共交通ネットワークについて （2）宗像Maas事業 Maasアプリ（my route）によるデジタルチケットの造成について （3）公共ライドシェアの他地区への導入について （4）自動運転バス実証運行について
その他	（1）次回開催予定 臨時開催：9月下旬～10月上旬

区分	質疑内容等
会長	開会 会長挨拶
会長	協議事項（1）大島地区の公共交通再編について、元気な島づくり課から説明をお願いします。
元気な島づくり課	資料に沿って、協議事項（1）大島地区の公共交通再編について説明。
会長	元気な島づくり課から説明があったが、質疑等はあるか。
辻代理	実証期間について教えていただきたい。
元気な島づくり課	▶ 実証は10月から1月までを想定し、2月1日から本格運行を予定している。
古後委員	大島のるーとは、ドア to ドアでの運行か。
元気な島づくり課	▶ ミーティングポイントとドア to ドアの併用である。島民は事前登録により、ドア to ドアを可能とする。
古後委員	日の里地区も高齢者が多いため、自治体単位でドア to ドアの要望があっている。大島地区でドア to ドアの実現が出来るのは、大島地区特有の住宅の配置等が関係あるのか。
元気な島づくり課	▶ 大島地区は高齢化率が高く、足腰の弱い利用者も想定し、今回ドア to ドアを検討した。
事務局	▶ 日の里地区もドア to ドアとしたいところだが、ミーティングポイント方式で乗降することで効率よく運行が来ている。大島地区の場合は島民の人数が少ないため、ドア to ドアという運行が出来るが、日の里地区の場合は、年間5万人以上が利用しており、ドア to ドアにすることで今以上に待ち時間が長くなってしまふ影響を考慮すると難しいと考えている。

寺尾委員	のる一との提供会社名を教えてください。
元気な島づくり課	▶ ネクスト・モビリティ（株）である。
会長	協議事項（１）についてはご承認いただいたということでよろしいか。 （一同異議なし）
会長	協議事項（２）路線バス（松ヶ台循環線、津屋崎鐘崎線）に伴う地域公共交通再編等について、西日本鉄道株式会社（株）から説明をお願いします。
西日本鉄道株式会社（株）	資料に沿って、協議事項（２）路線バス（松ヶ台循環線、津屋崎鐘崎線）に伴う地域公共交通再編等について説明。
会長	西日本鉄道株式会社（株）から説明があつたが、質疑等はあるか。
寺尾委員	鐘崎から赤間駅までの路線の廃止時期を教えてください。
西日本鉄道株式会社（株）	▶ 全体的な路線廃止については現在協議中である。
事務局	▶ 松ヶ台循環線、津屋崎鐘崎線の一部路線廃止については、前回の会議で話をしている。主な廃止範囲にあたる福津市、岡垣町は協議を終えており、当市も今回、廃止ということで協議を整えてよろしいか。また、津屋崎鐘崎線の減便については、補助金を受けている路線のため、今回審議する対象としている。
会長	▶ 意見・質疑がないことから、松ヶ台循環線の一部、津屋崎鐘崎線の一部については、廃止で協議が整ったものとしてよろしいか。 （一同異議なし）
会長	報告事項（１）交通需要調査結果報告及び今後の地域公共交通ネットワークについて、事務局から説明をお願いします。
事務局	資料に沿って、報告事項（１）交通需要調査結果報告及び今後の地域公共交通ネットワークについて説明。
会長	事務局から説明があつたが、質疑等はあるか。
大枝委員	BRTとはどういったものなのか教えてください。
事務局	▶ 当市で考えるBRT（バス高速輸送システム）は、幹線を通り、快速バスのように乗継拠点を中心に主要なバス停に停まるもの。また、時間帯によって停まるバス停を変えることも想定している。
会長	報告事項（１）についてはご承認いただいたということでよろしいか。 （一同異議なし）
会長	報告事項（２）宗像Maas事業 Maasアプリ（my route）によるデジタルチケットの造成について、事務局から説明をお願いします。
事務局	宗像Maas事業 Maasアプリ（my route）によるデジタルチケットの造成について、資料をもとに説明。
会長	事務局から説明があつたが、質疑等はあるか。 （一同質疑、異議なし）
会長	報告事項（３）公共ライドシェアの他地区への導入について、事務局から説明をお願いします。
事務局	資料に沿って、報告事項（３）公共ライドシェアの他地区への導入について説明。
会長	事務局から説明があつたが、質疑等はあるか。
上谷オブザーバー	公共ライドシェアの導入等で、路線バスの廃止や減便を補う考えか。
事務局	▶ まずは支線交通を検討するため公共ライドシェアを導入している。西鉄バスは大量輸送を担っているため、公共ライドシェアで路線バスの全てを補完することは難しい。しかし、BRTは路線バスの役割に近いと考えており、当市はBRTと公共ライドシェアで路線バス廃止・減便を補完する考えである。

会長	報告事項（３）についてはご承認いただいたということでよろしいか。 （一同異議なし）
都市再生課	資料に沿って、報告事項（４）自動運転バス実証運行について説明。
会長	都市再生課から説明があったが、質疑等はあるか。
森委員	現在、乗用車でもレベル２まで進んでいるのか。「手動操作も行うこと」はレベル２か。
都市再生課	▶ レベル２は、アクセル操作、ブレーキ操作が不要の状態である。しかし、事故の責任は運転手にあるため、運転手が危ないと感じた場合は手動操作を行う。市販の車だとアイサイトはレベル２相当と聞いている。
浅倉委員	法的整理（道路交通法や事故の問題等）や無人を想定した防犯対策について、先行導入の自由ヶ丘地区は説明をお願いしたい。 また、本日配布の資料に交通ネットワークの将来イメージ図があり、森林都市バスセンターの記載がある。森林都市バスセンターの予定場所について教えていただきたい。また、イメージ図に記載の無い南側地区は、路線バスが廃止されるのではないかと懸念している。
都市再生課	▶ 事故発生時の対応はまだ調べきれていないが、安全対策はかなり厳しく行われている。レベル４の認可を受けたあとでも、車内の困り事や急病人発生時等の対応を考え、当市は乗務員乗车型の自動運行バスを考えている。 また、バスセンターについては団地再生事業の一環で取り組んでおり、自由ヶ丘３丁目交差点周辺で候補地を検討している。バス路線の継続は今後も西日本旅客鉄道様と協議するが、将来的には自動運転バスを南側に延伸することも検討したい。
棚橋委員	前回の実証の際に自動運転バスを試乗した。赤間駅はロータリー内に迎えの車の停車が多く、また、駐車場に向かって横断する人も多いため、自動運転の妨げになると感じた。また、乗車には時間がかかる方もいることから、必ず着席してから運行するのか等の安全面が懸念される。 また、以前試乗した際は、左折右折する際の対向車との距離・間隔等が難しいようで手動操作に代わることが多かった。車両の幅や対向車との距離・間隔についても安全確保に努めていただきたい。
都市再生課	▶ 赤間駅の停車場所について、昨年度は専用のバス停を定めていなかったことから手動操作が多くなったが、今年度は赤間駅南口バス停を停車場所に設定している。また、乗務員乗车型の自動運転バスのため、利用者が着座する前に発進する危険性は回避できると考える。右折時の対向車との譲り合いについては、自動運転バスだけではなく、周りの車も自動運転とどう付き合うのか関係する。今回の実証で多くの方に試乗していただき、本格運行に向け検討していきたい。
会長	報告事項（４）についてはご承認いただいたということでよろしいか。 （一同異議なし）
会長	その他（１）次回開催予定について、事務局から説明をお願いする。
事務局	次回臨時開催させていただきたいことを説明。
会長	他に意見・質疑なしにより、これをもって令和７年度第２回宗像市地域公共交通会議を終了する。

（以上）